



大阪錦繪新聞

第32号

四橋西北情郎  
猩々堂九化記

子代の白牡丹

律とめと  
知さう

新町南通三丁目木原の店を借りて務とせむ  
小櫻といふ媚妓ハ艶容名の如くまろくく  
赤心の強氣ハ壯男も及ばず奴の小萬も  
肌足で逃出―巴枝額も今あつた  
降余あす―爰は再け人カ  
車的一件ハ新町中ハ評判高  
風説紛々何事を是ありと  
記者も判せど其實説と  
正さんとあふ一挺樓は登上  
あつて其本人ハ聴聞あまう

笹木野郎

彫淺二良  
石和板